

## 第5学年国語科学習指導案

令和2年7月15日(水)

- 1 **単元名** 環境問題について報告しよう  
**教材名** 「環境問題について報告しよう」 東京書籍5年  
他 環境問題について書かれた図書資料

### 2 単元の目標

- (1) 情報と情報との関係付けの仕方を理解することができる。 【知識及び技能】(2)イ  
(2) 「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 【思考力、判断力、表現力等】B(1)エ  
(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 【学びに向かう力、人間性等】

### 3 情報活用実践力指導の観点

- E 複数の情報の比較…情報カードを活用して、複数の情報の比較をする。(第2次)  
○F 情報の関係付け…複数の情報を関係付けて、論理立てて文章を書く。(第2次)

### 4 単元設定の理由

#### (1) 単元について

本単元では、言語活動として自分が関心を持った環境問題について図書・インターネットなどの資料で調べ、「報告文」を書く学習をし、課外に4年生への報告会で環境問題について報告する活動を行う。

「報告文」とは、見聞きしたこと、経験したこと、調べて分かったことについて、事実を中心に読み手に分かりやすく伝える文章である。「報告文」を書くことによって、情報を収集し、それらから分かる事実を整理して分析するという情報活用実践力を身に付けることができる。情報を整理、分析する際には、資料の文章を引用したり、情報と情報を関連付けたり図表やグラフなどを用いたりする力を身に付けることもできる。

報告会は、これから環境問題を学習する4年生に報告し、環境に関心を持ってもらうという目的で行う。報告会の前には、学級でプレ報告会を行い、「報告文」でまとめたことについて友達と報告し合い、考えを交流する活動を行う。その後、4年生に伝える機会を設けることで、相手・目的を意識しながら、読み手に分かりやすく伝える文章にしようとして工夫することが期待できる。したがって、学習指導要領における〔思考力、判断力、表現力等〕の「B書くこと」(1)エ「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」力を付けるのにふさわしい内容である。

教科書教材には、報告文の例が挙げられている。この文章には、文章の構成や表現における工夫、資料の活用など、読み手の興味を引くようなよさがたくさんある。これらのよさは、書き手の「説明の工夫」であり、児童が報告する際に生かすことができるものである。教科書教材以外にも、環境問題について書かれた図書資料は豊富である。児童が図書資料の中の様々な情報に触れることで、環境問題についてより深く考えていくことができる。また、図書資料の中には図表やグラフが含まれているものも多いため、児童はそれらの図表やグラフを効果的に用いて、報告文を書くことができる。

#### (2) 児童について

省略

#### (3) 指導にあたって

本校の4つの具体仮説に基づいて、以下の具体的な手立てを考えた。

##### ○具体仮説Ⅰ「学習計画力」

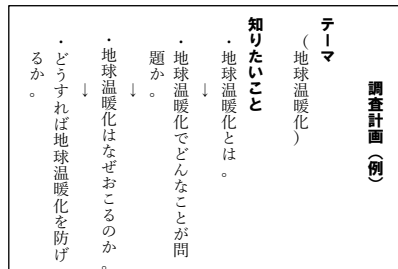
- ① 単元のゴールを示し、児童と共につくる学習計画

児童が環境問題について報告することへのイメージをもつことができるよう、第1次で「報告文」のモデルを示す。そして、「報告文」を書くためにはどんな学習が必要かを児童との話し合いを通して共有し、学習計画を立てることで、児童が主体的に学習を進めていくことができるようにする。

○具体仮説Ⅱ「情報収集力」(情報活用実践力E)

②調査計画(調査内容を明確にしたもの)を立てて行う調べ学習

情報収集する際、調査計画を作成し、児童が調査する内容を意識できるようにする。そして、調査した情報を、整理することができるようにするため、情報カードにまとめていく。情報カードには、調べた内容の「問い」に対する「答え」を書くことや要点をとらえた内容を書くことをおさえる。引用の仕方などを身に付けることができるようにするため、事前に社会科や総合的な学習の時間に学校司書が情報カードの使い方について指導したり、指導者がモデルを示したりする。



○具体仮説Ⅲ「情報整理力」

③書くことを明確にするための「選ぶポイント」

情報カードを選択する際、「選ぶポイント」(分かりやすい、興味がわくなど)を児童と共に設定することで、報告文に書くことが明確になるようにする。

④構成メモを活用した文章の組み立て(情報活用実践力E, F)

児童が収集した情報を論理的な文章にするために、構成メモを活用する。構成メモは、収集した情報を「①話題の提示(序論)②くわしい説明(本論)③まとめ(結論)」の3つに分けられるようにする。さらに「②くわしい内容(本論)」では、問題・原因・対策に分けて組み立てさせることによって、児童が、収集した情報を相互に関係付けながら論理的な文章を書くことができるようにする。

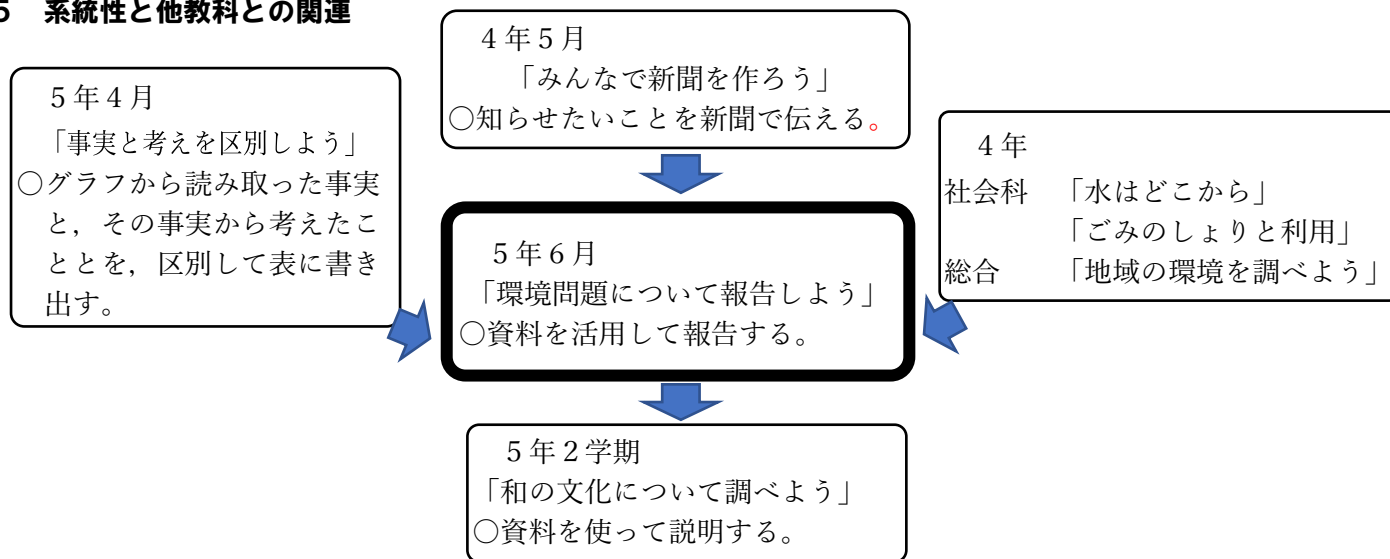
○具体仮説Ⅳ「文章表現力」

⑤「相手・目的」の意識をもった「説明の工夫」

「4年生への報告会で環境問題について報告する」というゴールを明確にすることで、「相手・目的」を意識できるようにする。

4年生への報告会で、分かりやすく伝えるためには、「報告文」の構成・表現・資料について工夫する必要がある。工夫する手順として、「①ゴール(4年生に環境問題について報告する)を明確にして相手・目的を意識する②教材文で「説明の工夫」(構成や表現、資料など)を読み取る③事前に学級でプレ報告会を行い、「報告文」に対してのアドバイスを行う」という手立てをとる。

5 系統性<sup>1)</sup>と他教科との関連



6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係付けの仕方を理解している。(2)イ	①「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ	①積極的に情報と情報との関係について理解しようとし、学習の見通しをもって、進んで引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、調べたことを報告する文章を書こうとしている。

## 7 単元の指導計画と評価計画（全8時間 本時 4/8時間）

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準
一 課題の設定	1	○環境について考えたり、 報告文のモデルを見たりして学習課題もつ。 ○報告文のモデルから、書き方の工夫を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元に入る前に、関連する図書の読書を進める。</li> <li>・調べて分かったことや考えたことを、資料を活用して報告するという学習課題をもつ。</li> <li>・学習の見通しをもつことができるように、教師の報告文のモデルを示す。</li> </ul>	
	2	○環境問題について考えたり、報告文のモデルを見たりしながらテーマを決め、調査計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題に関して考えることができるように、これまでの経験や生活を想起させたり、動画や写真などを提示したりする。</li> <li>・どのように調べればよいか、見通しをもつことができるように、調査計画のモデルを示す。</li> </ul>	
二 情報の収集・整理・分析	3	○調査計画に基づいて、情報や資料を集める。 ○それぞれの資料から読み取れることを情報カードに整理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報カードには、「問い」に対する「答え」を書くことや、要点をとらえた内容を書くことを示すために、情報カードのモデルを示す。</li> </ul>	<p>【知識・技能①】 まとめカード、構成メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報と情報との関係付けの仕方を理解することができているかの確認</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 観察、振り返りの記述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に情報と情報との関係について理解しようとしているかの確認</li> </ul>
	4 本時	○情報カードを選択し、書く内容ははっきりさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた情報を関係付けて考えることができるように、まとめカードを準備する。</li> <li>・情報を「選ぶポイント」を提示し、児童が根拠をもって情報を選択できるようにする。</li> </ul>	
	5	○序論・本論・結論の構成を意識しながら構成メモを書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・序論・本論・結論の構成を意識しながら考えられるように、構成メモを準備する。</li> </ul>	
三 まとめ・表現	6	○構成メモをもとに下書きを書く。 ○選んだ資料を見やすい形で文章に貼り付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成を意識しながら報告文を書くことができるように、構成メモと報告文のモデルを提示する。</li> </ul>	<p>【思考・判断・表現①】 ノート、報告文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかの確認</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 観察、振り返りの記述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、報告する文章を書こうとしているかの確認</li> </ul>
	7	○「プレ报告会」を開き、資料の使い方や効果に着目しながら報告を聞き、互いに評価する。 ○4年生に向けて報告するために、よりよい「報告文」となるよう、友達からの評価をもとに文章を修正する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が、資料の使い方や効果に目を向けて互いに評価できるように、「プレ报告会」の場を設ける。</li> </ul>	
	8	単元の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何に気を付けて資料を活用したかを振り返り、学習を通して身につけたことを確かめる。</li> </ul>	

※課外に4年生への報告会を設定する。

## 8 本時の学習

### (1) 目標

情報カードにまとめた情報を、「選ぶポイント」に沿ってまとめカードに整理することができる。

【知識及び技能】

### (2) 展開 (4/8)

学習活動と予想される児童の反応	指導者の支援 (○) と評価 (☆)																								
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     報告文を書くための情報を選んで、まとめカードに整理しよう。                 </div> <p>2 情報カードの整理の仕方を考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr><th>タイトル</th><td>地球温暖化の原因は何？</td></tr> <tr><td>ポイント</td><td>温室効果ガス別の地球温暖化へ与える影響として、二酸化炭素76%、メタン16%と、この2つで92パーセントを占めている。そのほか、一酸化二窒素やオゾン層破壊物質であるフロン類(CFCs,HCFCS)なども温室効果ガスに含まれる。つまり、石油や石炭などの化石燃料の燃焼などによって排出される二酸化炭素が最大の温暖化の原因といえる。</td></tr> <tr><th>著者</th><td>気候変動における政府間パネル(IPCC)</td></tr> <tr><th>発行年(出版日)</th><td></td></tr> <tr><th>発行冊数</th><td></td></tr> <tr><th>ページ数</th><td></td></tr> </table> <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr><th>タイトル</th><td>地球温暖化の原因は何？</td></tr> <tr><td>ポイント</td><td>最大の理由は、温室効果ガスのひとつである、二酸化炭素が増加していること。</td></tr> <tr><th>著者</th><td>松井智子 竹内智子</td></tr> <tr><th>発行年(出版日)</th><td>金の星社</td></tr> <tr><th>発行冊数</th><td>2009</td></tr> <tr><th>ページ数</th><td>40</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     原因                      温室効果ガスのひとつである二酸化炭素が増加していること。                 </div> </div> <p>(1)選ぶポイントを設定する。                      選ぶポイント①分かりやすい                      ……図がある、難しくない                      ②興味がわく</p> <p>(2)まとめ方を確認する。                      ○必要な所に線を引く。                      ○まとめカードに整理する。                      ○必要な絵や写真、図表、グラフを選ぶ。</p> <p>3 情報を選択・整理する。</p> <p>(1)自分で情報を選んで「定義」「問題」「原因」「対策」のまとめカードにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この内容だと興味をもってくれそうだな。</li> <li>この内容は難しすぎるかな。</li> <li>図やグラフがあるから分かりやすそうだな。</li> <li>この情報とこの情報をつなげてまとめよう。</li> </ul> <p>(2)ペアの友達とまとめたカードについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この内容は難しくて分かりにくいね。</li> <li>具体的に4年生が興味をもってくれそう。</li> <li>この資料がよく分かるよ。</li> <li>「原因」と「対策」がつながっていて分かりやすいね。</li> </ul> <p>(3)ペアの友達どうして話し合ったことをもとに、自分のまとめカードを見直す。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報をまとめることができ報告文の流れが分かった。</li> <li>図やグラフを選んで分かりやすい報告文が書けそう。</li> </ul>	タイトル	地球温暖化の原因は何？	ポイント	温室効果ガス別の地球温暖化へ与える影響として、二酸化炭素76%、メタン16%と、この2つで92パーセントを占めている。そのほか、一酸化二窒素やオゾン層破壊物質であるフロン類(CFCs,HCFCS)なども温室効果ガスに含まれる。つまり、石油や石炭などの化石燃料の燃焼などによって排出される二酸化炭素が最大の温暖化の原因といえる。	著者	気候変動における政府間パネル(IPCC)	発行年(出版日)		発行冊数		ページ数		タイトル	地球温暖化の原因は何？	ポイント	最大の理由は、温室効果ガスのひとつである、二酸化炭素が増加していること。	著者	松井智子 竹内智子	発行年(出版日)	金の星社	発行冊数	2009	ページ数	40	<p>○ 情報カードを選択するための見通しをもつことができるように、指導者の情報カードを提示し、全体でどの情報を選んでまとめればよいか、話し合いの場を設ける。</p> <p>○ 全体で考えることができるようにするために、同じ内容の問いに対する情報カードを数枚提示する。</p> <p>○ 全体でまとめ方を確認するために、「原因」をまとめるためのカードを準備する。</p> <p>○ 児童が根拠をもって選択することができるようにするために、「選ぶポイント」を児童とともに設定する場を設ける。                      (「選ぶポイント」…①分かりやすい(図がある、難しくない) ②興味がわく)</p> <p>○ 誰に報告するのかを想起させて、難しすぎる内容の情報を選ばないように助言する。</p> <p>○ 児童が、まとめ方をつかむことができるように、指導者が実際に情報をまとめて見せる。</p> <p>○ 児童が、「定義」「問題」「原因」「対策」のそれぞれをまとめることができるようにするために、「定義」「問題」「原因」「対策」のまとめカードを準備する。</p> <p>○ それぞれのまとめカードにつながりがあるかどうかを考えるように声をかける。</p> <p>☆ 情報カードにまとめた情報を、「選ぶポイント」に沿って整理している。(まとめカード)</p>
タイトル	地球温暖化の原因は何？																								
ポイント	温室効果ガス別の地球温暖化へ与える影響として、二酸化炭素76%、メタン16%と、この2つで92パーセントを占めている。そのほか、一酸化二窒素やオゾン層破壊物質であるフロン類(CFCs,HCFCS)なども温室効果ガスに含まれる。つまり、石油や石炭などの化石燃料の燃焼などによって排出される二酸化炭素が最大の温暖化の原因といえる。																								
著者	気候変動における政府間パネル(IPCC)																								
発行年(出版日)																									
発行冊数																									
ページ数																									
タイトル	地球温暖化の原因は何？																								
ポイント	最大の理由は、温室効果ガスのひとつである、二酸化炭素が増加していること。																								
著者	松井智子 竹内智子																								
発行年(出版日)	金の星社																								
発行冊数	2009																								
ページ数	40																								

### (3) 本時の評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
○ 情報カードにまとめた情報を、「選ぶポイント」に沿って選び、「定義」「問題」「原因」「対策」のつながりを意識してまとめカードに整理している。	○ 情報カードにまとめた情報を、「選ぶポイント」に沿ってまとめカードに整理している。	○ どの情報を選ばよいか、「選ぶポイント」を確認する。

### (4) 研究の視点

- 「定義」「問題」「原因」「対策」の観点別に、カードに情報をまとめたことは、情報を整理するのに有効であったか。  
(具体仮説Ⅲ「情報整理力」)
- 環境問題について、関連図書資料で調べたことは、報告したい内容についての理解を深め、自分の考えが伝わる報告文を書くのに有効であったか。  
(図書館活用の視点)

## 9 研究協議の概要

参加者	校内12名、校外4名 計16名
授業及び研究協議の概要	事前に調べた情報カードから自分の伝えたいことに合わせて必要な情報を選択・整理し、ペアで話し合いながらまとめる授業を行った。研究協議では、ペアで話し合うことで安心感が得られたという意見があった。また、情報をまとめる目的について十分共有されていなかったのではな いかという指摘があった。